

在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成金請求書兼継続認定申請書

令和 年 月 日

北海道知事様

請求・申請の区分 (該当する□に✓を入れること)
□ 助成金の請求及び継続申請 □ 資格喪失に伴う請求
□ 継続申請のみ



Requester information table with fields for address, telephone number, and name.

令和 年分の在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成金を次のとおり請求します。

(助成金の請求をしない場合、以下は★印の箇所のみ記載してください)

Application details table including identification number, start date, bank name, and branch.

※口座名義人は請求者のものであること ※「助成認定の始期」欄については、請求年に新規認定となった場合のみ記入すること

Request amount and check amount table with calculation fields for 1,000 and 2,000 yen.

Payment period calculation table with fields for start/end months and rest days.

(ア 酸素濃縮器 イ 人工呼吸器) の指示状況兼医師の証明欄
(機種名: メーカー 型番 定格電力 W)
※ア・イはどちらかに○を付してください。※機器を変更した場合には、変更後の機器を記載してください。

Usage and rest status table with fields for device type, usage time, and rest periods.

Declaration and signature area with fields for date, medical institution name, and doctor name.

認定者と請求者(口座名義人)が異なる理由(異なる場合のみ○印をしてください。)
※認定者以外の口座の場合、請求者の範囲は民法上の扶養義務者(配偶者、直系血族、兄弟姉妹等)としてください。
1 使用者が未成年のため
2 使用者を扶養のため(未成年以外)
3 使用者が死亡のため

「請求額」欄の記載例

〈通常の請求（1～2月に前年分を請求する場合）〉

①酸素濃縮器等の使用休止がない場合

○前年の1月から12月までの12ヶ月間が助成対象月数となります。ただし、前年に認定を受けた方は、認定証に記載された「助成認定の始期」から12月までが助成対象となります。

↓「ア 12時間未満」の方の記載例

↓「イ 12時間以上」の方の記載例

請求額	12,000円
1,000円 × 支給月 <u>12</u> ヶ月 =	<u>12,000</u> 円
2,000円 × 支給月 <u>—</u> ヶ月 =	<u>—</u> 円
合計	<u>12,000</u> 円

請求額	24,000円
1,000円 × 支給月 <u>—</u> ヶ月 =	<u>—</u> 円
2,000円 × 支給月 <u>12</u> ヶ月 =	<u>24,000</u> 円
合計	<u>24,000</u> 円

②酸素濃縮器等の使用休止がある場合

○休止月数と支給月数を算出してください。

【例】1年間で80日間入院し、在宅での酸素濃縮器等の使用を休止した場合

◆ 休止月数 休止日数の合計 80日間 ÷ 30 = 2.66 ヶ月（小数点以下切捨）

◆ 支給月数 助成対象月数 12 ヶ月 - 休止月数 2 ヶ月 = 支給月数 10 ヶ月

↓「ア 12時間未満」の方の記載例

↓「イ 12時間以上」の方の記載例

請求額	10,000円
1,000円 × 支給月 <u>10</u> ヶ月 =	<u>10,000</u> 円
2,000円 × 支給月 <u>—</u> ヶ月 =	<u>—</u> 円
合計	<u>10,000</u> 円

請求額	20,000円
1,000円 × 支給月 <u>—</u> ヶ月 =	<u>—</u> 円
2,000円 × 支給月 <u>10</u> ヶ月 =	<u>20,000</u> 円
合計	<u>20,000</u> 円

〈資格喪失により年の途中に請求する場合〉

○資格を喪失した年の1月から資格喪失の月までの期間が助成対象月数となります。ただし、認定を受けた年に資格を喪失した方は、認定証に記載された「助成認定の始期」から資格喪失の月までが助成対象となります。

【例】「助成認定の始期」が「令和〇〇年3月から」で、その年の10月に資格を喪失した場合

◆ 3月から10月までの8ヶ月が助成対象月数となります。

↓「ア 12時間未満」の方の記載例

↓「イ 12時間以上」の方の記載例

請求額	8,000円
1,000円 × 支給月 <u>8</u> ヶ月 =	<u>8,000</u> 円
2,000円 × 支給月 <u>—</u> ヶ月 =	<u>—</u> 円
合計	<u>8,000</u> 円

請求額	16,000円
1,000円 × 支給月 <u>—</u> ヶ月 =	<u>—</u> 円
2,000円 × 支給月 <u>8</u> ヶ月 =	<u>16,000</u> 円
合計	<u>16,000</u> 円